

「気持ちの男」原点忘れずに

ソフトバンク古谷入団会見



晴れやかな表情で「球団を代表する選手になりたい」と会見した古谷優人投手

— 自分自身にキャッチコピーをつけるとしたら「〇な男」で表現を。
— 気持ちの男です。

— その理由は、高校時代から常に気持ちで野球をやってきたので、その原点を忘れずに気持ちで野球をやっていきたいからです。

— これだけは今年の新人入団選手の中で負けないものは。

— 精神力です。
— 工藤監督やコーチから何を教わりたいですか。

— 工藤監督からプロ野球界で通用するカーブの投げ方を教えてもらいたいです。

球団のために死ぬ気で頑張るので応援よろしくお願ひします。

【福岡】福岡ソフトバンクホークスと正式契約を結んだ江陵高の古谷優人投手（17）が22日午後、2017年度新人入団選手発表記者会見に臨み、報道陣やファンとの質疑応答の中ではかの9人の新人入団選手と共に堂々と自己PRをした。工藤公康監督の隣に座って会見に臨んだ古谷投手は「球団を代表する選手になりたい。死ぬ気で頑張る。（自分は）「気持ちの男」と強い決意を述べ、以前からホークスのファンだったこと、工藤監督にカーブの投球術を習いたい希望があることも表明して大きな拍手を浴びた。同投手の記者会見での主なやりとりは次の通り。

（内形勝也、塩原真）

— 今の気持ちは。

— この場にいることが、まずはありがたいことだと思っています。ようやくプロ野球選手になった実感が湧いてきました。自分が一番ファンだった球団に入団できてうれしい。

— ホークスのファンなのはどうか。

— 大好きな松田宣浩選手がいるからです。

— 松田選手の好きなところは。

— 熱いところです。
— プロに入って対戦してみたい選手は。
— 今は特に考えていないです。

— プロに入ってからどんな選手になりたいですか。

— 球団を代表するような投手になりたいです。

— 決意表明を。

— 憧れのソフトバンクのユニホームに身を包み、古谷投手は家族やファンの拍手の中、会見場に入る

「カーブ教えてください」「任せろ」



「監督にカーブを教えてもらいたい」と表明した古谷投手（右）に、左手の親指でOKサインを出す工藤公康監督（左）